

わが家の防災メモ

わが家の避難場所		家族が離れ離れになったときの集合場所			
家族の連絡先	氏名	生年月日	血液型	持病・常用薬 アレルギーなど	勤務先・学校または携帯電話番号など 連絡先
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+・-)		
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+・-)		
		T・S・H・R 年 月 日	型 Rh(+・-)		
(親戚・知人など) 緊急時の連絡先	氏名	間柄	電話番号	住所	メモ
防災機関などの 連絡先	警察 110番		病院		
	広尾警察署大樹駐在所 6-2151		大樹町立国民健康保険病院 6-3111		
	火事・救急車 119番		森クリニック 6-5811		
	大樹消防署 6-2199		大庭医院 6-3174		
大樹消防署 石坂消防会館 6-2660		大樹町役場 6-2111			
大樹消防署 生花消防会館 7-8165		大樹町ホームページ https://www.town.taiki.hokkaido.jp/			
大樹消防署 尾田消防会館 7-5422					
電気 停電、電柱・電線などの設備に関する問合せ					
市外局番 (01558) 北海道電力ネットワーク株式会社 大樹ネットワークセンター 0120-06-0739					

ご存じですか？ 災害用伝言サービス

災害用伝言ダイヤル 171

大規模災害発生時に電話がつながりにくい状況になった場合に、安否情報を録音し伝えることができるNTTのボイスメールサービスです。「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従い伝言の録音や再生を行います。

1 録音 → (XXXX)XX-XXXX → **録音** (30秒以内)

2 再生 → 被災地の方はご自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号を、被災地以外の方は連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルする。 → **再生**

※詳しい内容はNTT東日本のホームページでご確認ください。 [ホームページ](https://www.ntt-east.co.jp/saigai/) <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/>

携帯電話会社の災害用伝言板

携帯電話会社では、大きな災害が発生した場合に、各社携帯電話のネット上に「災害用伝言板」が緊急開設されます。緊急時に備え、事前に使用方法を確認しておきましょう。

お問い合わせ先 **大樹町役場 総務課** 〒089-2195 広尾郡大樹町東本通33 ☎01558-6-2111 <https://www.town.taiki.hokkaido.jp/>

大樹町

洪水

ハザードマップ



警戒レベルを目安に早めの行動を！

警戒レベル5

大雨特別警報
氾濫発生情報

災害が発生または
切迫した状況です

緊急安全確保

ただちに命を守る行動を
とってください！

警戒レベル4

記録的短時間大雨情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報

災害のおそれが高まっています

避難指示

全員避難してください！

警戒レベル4までには避難を完了
するよう、早期の避難行動に備え
てください。

警戒レベル3

大雨警報
洪水警報
氾濫警戒情報

災害が起こる可能性があります

高齢者等避難

高齢者、障がい者、乳幼児のような
避難に時間がかかる人と
その支援者は避難してください！

警戒レベル4までに避難完了してください

日頃からの備え

防災情報の伝わり方を知っておこう

災害が発生したとき、または発生しそうなときは、テレビ・ラジオ・ホームページで防災情報(気象・河川・道路情報や避難情報など)を確認しましょう。

防災情報は、以下の図の流れにより町民の方々に伝えられます。

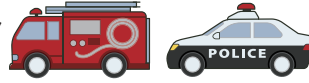
大樹町(災害対策本部)

発信

防災情報の伝達方法

消防署(消防団)・警察署

- 消防車(巡回)、サイレン
- パトカー(巡回)



役場

- 広報車(関係する地域を巡回)
- 直接連絡(町内会、自主防災組織など)



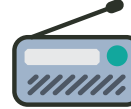
報道機関

- テレビ(テロップやデータ放送)
- ラジオ



各家庭

- 防災無線(戸別受信機)
- 屋外拡声スピーカー



その他情報媒体

- 緊急速報メール

災害時に備えて、一人でも多くの人に避難情報などを伝えるために、携帯電話会社がサービス提供している「緊急速報メール」による情報伝達が行われます。



テレビのリモコン **d** ボタンを押して気象情報・河川情報の確認ができます!

リモコンの **d** ボタンを押すと、地上デジタル放送で気象情報や河川情報など防災に役立つ身近な情報をご覧いただけます。

※放送局ごとに、ボタンの操作は変わります。

※河川情報はNHKのデータ放送でご確認ください。

※お使いのリモコンにより **d** ボタンの位置は異なります。

町民のみなさん

自ら入手

町民の皆さんが自ら入手できる情報

大樹町

大樹町ホームページ



<https://www.town.taiki.hokkaido.jp/>

北海道

北海道防災ポータル



<http://www.bousai-hokkaido.jp>

北海道士砂災害警戒情報システム



<https://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/>

北海道防災情報メール

北海道防災情報メールは、あらかじめ登録されたメールアドレスに気象情報や避難情報を自動的に配信するサービスです。



登録はこちらから

川の防災情報



<https://www.river.go.jp>

川の水位情報



<https://k.river.go.jp>

キキクル



<https://www.jma.go.jp/bosai/risk>

浸水ナビ



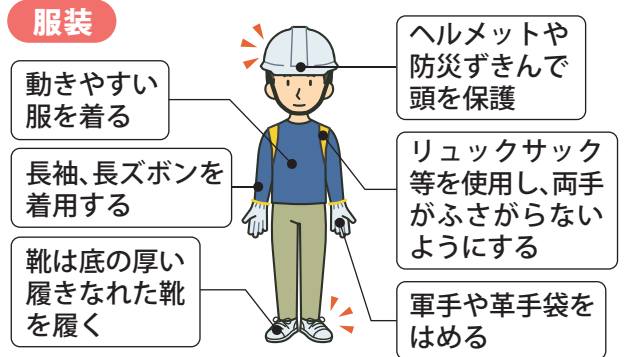
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

避難に関する知識を身につけよう

町や防災関係機関からの避難に関する情報がない場合でも、危険を感じたときは、自らの判断で自主的に避難しましょう。

避難するときの注意点

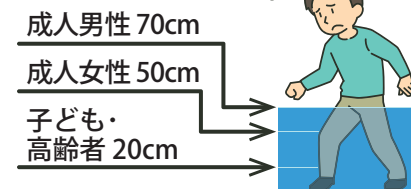
- 火元の確認、ガスの元栓を閉める。
- 電気のブレーカーを切る。
- 外出中の家族に連絡やメモを残す。
- 高齢者や子どもの手をしっかり握って誘導する。
- できるだけ近所の人たちと集団で避難する。
- 狭い道、塀ぎわ、川べりなど危険な箇所を避ける。
- 水害時は、足元や水の流れ、深さに十分注意する。



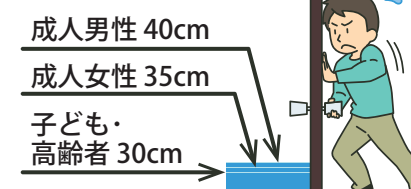
浸水深と避難行動

浸水深が大きくなると、歩行や自動車の走行に支障をきたし、避難行動が困難になります。

歩行が困難になる水深

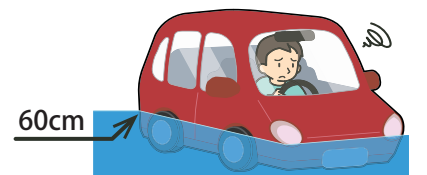


ドアが開かなくなる水深



車が止まってしまう水深

車種によってはタイヤの半分くらいでエンジンが止まることもある



避難時の感染症対策

感染症が心配される中での避難所では、感染リスクが高まるおそれがあります。

感染拡大を防ぐため、**分散避難**の検討や避難時の**衛生用品の携行**についてご協力をお願いいたします。

分散避難とは?

自宅や知人宅、宿泊施設などの**避難所以外の安全な場所に避難**をすることです。まずは**ハザードマップ**で自宅が安全な区域であるかを確認しましょう。

安全な場合が

在宅避難(動かない避難)

避難とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人まで避難所に行く必要はありません。自宅が安全な場所にある場合は、在宅避難をすることを想定し、飲料水や食料品、生活用水、日用品については最低3日間分、できれば7日間分を準備しておきましょう。また、うがい・手洗いの徹底や共用部分の消毒など、家庭内での感染防止に努めましょう。

安全ではない場合が

安全な場所に住む親戚・知人宅への避難

日頃からコミュニケーションをとり、災害時の避難について相談しておきましょう。

車中避難場所への避難

換気や運動を心がけ、エコノミークラス症候群や一酸化炭素中毒、熱中症などに十分注意しましょう。

宿泊施設への避難

避難所での過密状態を避けるため、宿泊施設が避難所として活用される場合があります。

指定避難所への避難

○ 非常用持出品にマスク・消毒液・体温計・室内履き(スリッパ)を加えておきましょう。

○ 避難所に入る前に検温・体調チェックをしましょう。

○ 避難所に入ったら、以下のことに注意しましょう。

- マスクの着用
- こまめな手洗い・消毒、咳エチケット等の徹底
- 避難者同士のスペースを確認し、密を避ける



非常用持ち出し品・備蓄品の準備をしよう

非常用持ち出し品

非常持ち出し品は、安全に避難するために必要最低限持ち出すものです。できるだけ身軽に避難できるようにするため、家族で持ち物を分散し、避難に必要な物品や貴重品に限りましょう。非常持ち出し品は袋に入れ、逃げ出す時の通り道、目につくところ、寝室の枕元などに置いておきましょう。

チェックリスト 自分や家族の環境に応じて必要なものを準備してください。

- | | | |
|---|--|--|
| <input type="checkbox"/> 水 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | 感染症対策にも有効です! |
| <input type="checkbox"/> 食品
ご飯(アルファ米など)、
レトルト食品、ビスケット、チョコ、
乾パンなど最低3日分の用意を! | <input type="checkbox"/> ブランケット | <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット・
防災ずきん | <input type="checkbox"/> 軍手 | <input type="checkbox"/> 手指消毒用アルコール |
| <input type="checkbox"/> 衣類・下着 | <input type="checkbox"/> マジック | <input type="checkbox"/> 石けん・ハンドソープ |
| <input type="checkbox"/> レインウェア | <input type="checkbox"/> 布テープ | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> 紐なしのズック靴
→上履き用 | <input type="checkbox"/> ラップやポリ袋 | <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯
→手動充電式が便利 | <input type="checkbox"/> マッチ | 一緒に持ち出しましょう! |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ
→手動充電式が便利 | <input type="checkbox"/> 救急用品
ばんそうこう、包帯、消毒液、
常備薬など | <input type="checkbox"/> 貴重品
通帳、現金、パスポート、
運転免許証、病院の診察券、
マイナンバーカードなど |
| <input type="checkbox"/> 予備電池・携帯充電器 | <input type="checkbox"/> 洗面用具 | |
| | <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉
→液体歯磨きが便利 | |
| | <input type="checkbox"/> タオル | |
| | <input type="checkbox"/> ペン・ノート | |

乳幼児がいる家庭の備え

- | |
|--|
| <input type="checkbox"/> ミルク(キューブタイプ) |
| <input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 |
| <input type="checkbox"/> 離乳食 |
| <input type="checkbox"/> 携帯カトラリー(箸、スプーン、フォークなど) |
| <input type="checkbox"/> 子ども用紙オムツ |
| <input type="checkbox"/> おしりふき |
| <input type="checkbox"/> 携帯用おしり洗浄機 |
| <input type="checkbox"/> 抱っこひも |
| <input type="checkbox"/> 子どもの靴 |
| <input type="checkbox"/> ネックライト →両手が使える首下げタイプの懐中電灯 |

女性の備え

- | |
|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 生理用品・おりものシート |
| <input type="checkbox"/> サニタリーショーツ |
| <input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋 |
| <input type="checkbox"/> 防犯ブザー/ホイッスル |

高齢者がいる家庭の備え

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 入れ歯 | <input type="checkbox"/> 入れ歯用洗浄剤 |
| <input type="checkbox"/> 大人用紙パンツ | <input type="checkbox"/> 吸水パッド |
| <input type="checkbox"/> 補聴器 | <input type="checkbox"/> 杖 |
| <input type="checkbox"/> 持病の薬 | <input type="checkbox"/> お薬手帳のコピー |
| <input type="checkbox"/> デリケートゾーンの洗浄剤 | |

備蓄品

災害発生直後、飲料水や食料等は入手することが困難な状況が想定されます。また、ライフラインが途絶えた場合を想定し、数日間を生活できるように各家庭で備えておきましょう。

- | | |
|---|---|
| 食料や水 →最低3日分(できれば1週間分)×家族分
保存期間の長いものを多めに買って置き、消費したら補充するという循環備蓄(ローリングストック法)にしていれば、常に食料の備蓄が可能です。 | 生活用品(例)
<input type="checkbox"/> ティッシュ <input type="checkbox"/> トイレtpペーパー <input type="checkbox"/> ラップ <input type="checkbox"/> 電池
<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> ガスボンベ <input type="checkbox"/> ゴミ袋
<input type="checkbox"/> ポリタンク <input type="checkbox"/> ポータブルストーブ <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ |
|---|---|

ほかにも、家庭に必要なものは日頃から備えておきましょう

風水害

風水害の影響

雨の強さと影響

やや強い雨
10 ~ 20mm
(1時間雨量)
・地面からの跳ね返りで足元がぬれる
・地面一面に水たまりができる

強い雨
20 ~ 30mm
・傘をさしてもぬれる
・小規模のがけ崩れが始まる

激しい雨
30 ~ 50mm
・道路が川のようになる
・がけ崩れが起きやすくなり、
下水管から雨水があふれる

非常に激しい雨
50 ~ 80mm
・傘は役立たない
・車の運転は危険
・地下街に流れ込むこともある

猛烈な雨
80mm 以上
・息苦しくなるような圧迫感がある
・大規模災害が発生するおそれ強い

風の強さと影響

やや強い風
10 ~ 15m ← 1秒あたりの平均風速
< ~ 50km > ← およその時速
・風に向かって歩きにくい
・傘がさせない

強い風
15 ~ 20m
< ~ 70km >
・転ぶ人も出る
・看板やトタン板が外れ始める
・高所での作業は極めて危険

非常に強い風
20 ~ 30m
< ~ 110km >
・看板が落下、飛散する
・飛来物で負傷のおそれがある
・通常での速度での運転が困難になる

猛烈な風
30 ~ 40m
< ~ 140km >
・屋外での行動は極めて危険
・電柱や街灯で倒れるものもある

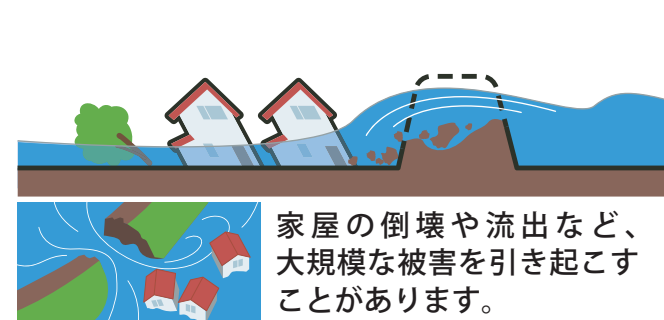
猛烈な風
40m 以上
< 140km ~ >
・住家で倒壊するものもある
・鉄骨構造物で変形するものもある

ご存じですか?

外水氾濫と内水氾濫のちがい

外水氾濫とは?

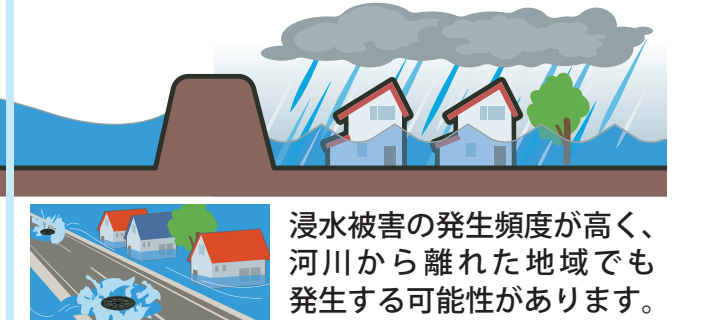
大雨により河川の水量が増え水位が上昇し、堤防が決壊したり、堤防を越えて水があふれだす氾濫のこと。



家屋の倒壊や流出など、大規模な被害を引き起こすことがあります。

内水氾濫とは?

一時的に多量の降雨が生じた場合に、下水道や排水施設などで排水が困難となり、小さな川やマンホール、側溝から水があふれる氾濫のこと。



浸水被害の発生頻度が高く、河川から離れた地域でも発生する可能性があります。

風水害への備え

家の点検・整備をしましょう

アンテナ

しっかり固定する。

ベランダ

鉢植えや物干しざおなど飛散の危険が高い物は室内へ。

ブロック塀

ひび割れや破損箇所は補強する。

側溝

側溝のごみや土砂を取り除き、雨水の排水を良くしておく。

プロパンガスのボンベ

鎖などでしっかり固定する。

屋根

トタンのめくれやはがれはないかを確認する。

外壁

亀裂や腐食、浮いた部分はないかを確認する。

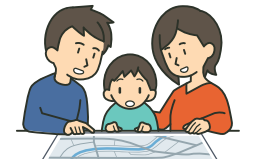
窓ガラス

窓のひび割れ、がたつきはないか、網戸が強風で飛ぶおそれがないかを確認する。また、強風による飛来物などに備えて、外側から板でふさぐなどの処置をとる。

非常用持ち出し品の事前準備をしましょう

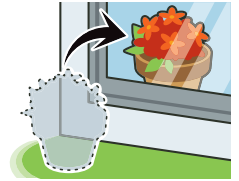


洪水ハザードマップで避難所や避難経路を確認しましょう



危険が近づいてきたら

- ・ 情報を得る。
- ・ むやみに外出しない。
- ・ 大雨の時は貴重品を2階か高所へ退避させる。
- ・ 強風の時は窓ガラスにガムテープなどを貼る。
- ・ 飛散の危険が高いものは室内に入れる。



洪水から身を守る



とるべき避難行動を確認しましょう

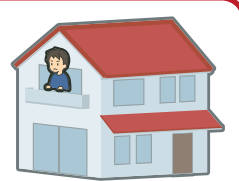
スタート

洪水の発生が予想されており洪水ハザードマップを見て自宅が浸水想定区域内にある。



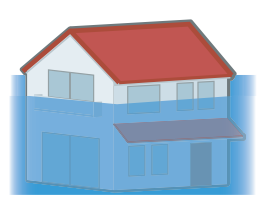
自宅滞在

むやみな外出は控えましょう。



はい

自宅の浸水深が最上階の床の高さを上回ることが想定されている。



周囲の様子を確認

自宅や道路などで浸水が始まっている。



はい

いいえ

はい

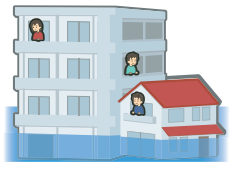
立退き避難

洪水が発生した場合、自宅に留まることは危険です。浸水が始まる前に近隣の安全な場所へ移動しましょう。



垂直避難

浸水が始まっているなかでの避難はとても危険です。自宅などの最上階で身の安全を守ってください。



P15~26のハザードマップを確認し、自宅や自分のいる場所が浸水想定区域内で、浸水深が建物の最上階の床の高さを上回る場合は、浸水前の早い段階で指定緊急避難場所などの安全な場所へ立退き避難しましょう。万が一逃げ遅れて浸水後の避難となる場合や、激しい雨が継続し、指定緊急避難場所まで移動することがかえって危険を及ぼすような場合は、近隣の安全な場所へ移動したり、屋内の高いところや屋上へ移動する垂直避難(屋内安全確保)をしましょう。

落雷のおそれがあるときは…

遠くで雷の音がしたら、すでに危険な状況です。自分のいる場所にいつ落雷してもおかしくありません。雷は発達した積乱雲に伴って発生し、近くに高いものがあるとこれを通して落ちる傾向があります。大きな建物の中か、列車やバス、車の中に避難しましょう。

落雷時の注意点

- 雷は積乱雲の位置次第でところを選ばずに落ちる。
- 開けた場所や、山頂や尾根などでは人に落雷しやすくなる。
- 木のそばにいますと、木に落ちた雷が人に飛び移ることがあるので、木のすべての幹、枝、葉から2m以上は必ず離れる。
- 避難するときは姿勢を低くし、持ち物は体より高く突き出さないようにする。
- 屋外に比べれば木造建築の内部は安全だが、すべての電気器具や天井・壁から1m以上離れるとさらに安全である。
- 雷の活動が止み、20分以上経過してから移動するようにする。

安全な場所

- 鉄筋コンクリート建築物
- 列車・バス
- 自動車(オープンカーを除く)

危険な場所

- グラウンド ゴルフ場 屋外プール
- 堤防や砂浜、海上などの開けた場所
- 山頂や尾根などの高いところ

竜巻のおそれがあるときは…

竜巻は、短時間で大きな被害をもたらすことがあります。もし、近くで竜巻が発生するか、その予兆を感じたらすぐに避難してください。落雷、ひょうなどの雷注意報が出た場合にも竜巻に警戒してください。また、竜巻注意情報の発表から約1時間は警戒を怠らないようにしてください。

- ・ 真っ黒な雲が近づいてくる
- ・ 雷の音が聞こえる
- ・ ヒヤッとして冷たい風が吹いている

竜巻が近づいてきたら

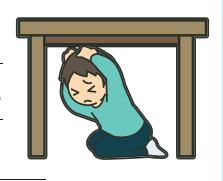
屋外にいたら…

- ① 近くの頑丈な建物に避難する。
- ② 避難できない場合は物陰やくぼみに身をふせる。
- ③ シャッターが開いていたら閉める。
- ④ 物置や車庫・プレハブ(仮設建築物)への避難は危険。



屋内では…

- ① 窓やカーテンを閉め、窓から離れる。
- ② 大きなガラス窓の下や周囲は大変危険。
- ③ 家の1階の窓のない部屋に移動する。
- ④ 頭から布団をかぶる、丈夫な机やテーブルの下に入るなど、身を小さくして頭と首を守る。



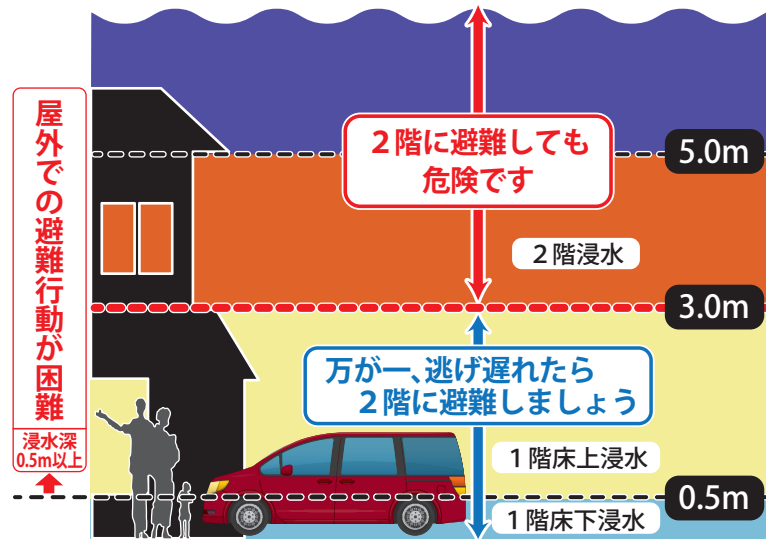
日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

浸水深の目安

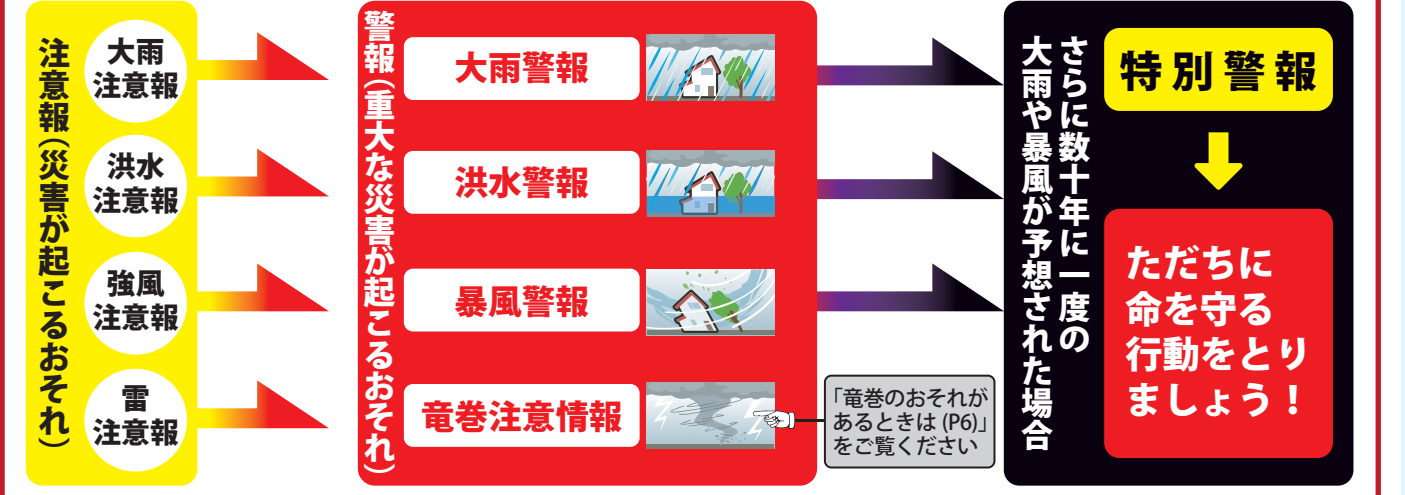
洪水(河川の氾濫)によって市街地や家屋、畑が水で覆われることを浸水といい、その深さを浸水深といいます。(道路や農地が水で覆われることを冠水ということもあります。)

一般の家屋では、浸水深が0.5m未満の場合は床下浸水、0.5m以上になると床上浸水するおそれがあり、3m以上では2階も浸水するおそれがあるため、2階への避難ができません。ハザードマップにより、自宅が浸水するか、浸水深はどのくらいか、避難ルートは浸水するかなどを確認しておきましょう。



特別警報 ~これまでにない危険が迫っていることをお知らせしています~

「特別警報」とは、警報の発表基準をはるかに超える大雨など、重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合に気象庁が発表し、最大級の警戒を呼びかけるものです。



河川の水位情報と警戒レベル

雨の強さ	洪水情報	警戒レベル	避難情報等	防災気象情報(気象庁発表)	住民の皆さんのとるべき行動
強	河川の水位が水位危険度レベル5に到達したときはその旨を住民へ周知します。水位の情報や洪水情報は、報道機関のほか、国土交通省「川の防災情報」のホームページから閲覧することができます。	警戒レベル5	緊急安全確保 (大樹町が発令)	大雨特別警報	命の危険 直ちに安全確保! 災害が発生している可能性があるため、避難建物の2階など、より高い階にある山の反対側の部屋で待機して身の安全を確保してください。
	氾濫の発生				警戒レベル4までに必ず避難!
	水位危険度レベル4	警戒レベル4	避難指示 (大樹町が発令)	土砂災害警戒情報	危険な場所から全員避難 この避難情報が発令されたら、必ず安全な場所へ避難してください。 ※安全な場所とは、町が指定した避難場所、安全な親戚・知人宅、安全なホテル・旅館など
	氾濫危険水位				
	水位危険度レベル3	警戒レベル3	高齢者等避難 (大樹町が発令)	大雨警報(土砂災害) 洪水警報	危険な場所から高齢者等は避難 避難に時間がかかる高齢者、障がいのある方などとその支援者は、避難を開始してください。そのほかの人は、避難の準備を始めてください。
	避難判断水位				
	水位危険度レベル2	警戒レベル2	大雨注意報等 (気象庁が発表)	大雨注意報 洪水注意報	自らの避難行動の確認 避難に備え、ハザードマップ等で災害が想定されている区域や避難場所等を確認してください。
	氾濫注意水位				
	水位危険度レベル1	警戒レベル1	早期注意情報 (気象庁が発表)		災害への心構えを高める テレビ、ラジオ、インターネット等で大雨や河川の状況を確認し、災害への心構えを高めてください。
弱	水防団待機水位				
	普通の水位				
	発表なし				

注意

- 【警戒レベル5】ではすでに災害が発生または切迫しています。また、必ず発令されるものではありません。
- 【警戒レベル3】や【警戒レベル4】の段階で地域の皆さんで声を掛け合って、安全・確実に避難しましょう。
- 避難に関する情報が発令されていない状況でも、危険を感じた場合には迷わず避難行動を開始してください。

日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

マイタイムラインを作ってみよう

マイタイムラインとは、**風水害などの災害に対し、自分自身が行う行動を時間の流れに沿って整理したもの**をいいます。
いざというときに慌てないために、どのタイミングで何をすべきか該当するものに チェックしておきましょう。

ハザードマップで自宅の危険度を確認しておこう		家庭の状況について確認しておこう	
あなたの住んでいる地域は？ <input type="checkbox"/> 洪水浸水想定区域 <input type="checkbox"/> 土砂災害警戒区域	住んでいる場所の浸水深は？ [川、 m]	避難に支援が必要な人 (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有	持病薬： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 ペット： <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有

警戒レベル (危険度レベル)	レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	レベル 5
情報収集	災害への心構えを高める 今後気象状況悪化のおそれ	自らの避難行動を確認 避難の準備 自主避難など注意の呼びかけ 気象状況悪化	危険な場所から 高齢者等は避難！ 高齢者等避難 災害のおそれあり	危険な場所から 全員避難！ 避難指示 災害のおそれ高い	命の危険 直ちに安全確保！ 緊急安全確保 <small>※必ず発令する情報ではありません。 この情報を待ってはいけません。</small>
	大雨に関する情報 早期注意情報	大雨注意報	大雨警報 (土砂災害) (浸水害)	避難指示	大雨特別警報 (土砂災害) (浸水害)
	河川の水位に関する情報	洪水注意報 氾濫注意情報	洪水警報 氾濫警戒情報	記録的短時間大雨情報 氾濫危険情報	氾濫発生情報
	土砂災害に関する情報			土砂災害警戒情報	
わが家の行動計画	<input type="checkbox"/> 気象情報を確認する <input type="checkbox"/> 避難手段・避難経路を確認する <input type="checkbox"/> 非常用持ち出し品・備蓄品を確認する <input type="checkbox"/> 家の点検・補強をする <input type="checkbox"/> 停電や断水を想定した買い物をしておく <input type="checkbox"/> 携帯電話を充電する <input type="checkbox"/> 車にガソリンを入れる	<input type="checkbox"/> 浸水想定箇所を確認する <input type="checkbox"/> 非常用持ち出し袋に貴重品や常用している薬を入れておく <input type="checkbox"/> 自宅のまわりの飛びそうなものを家の中へ片付ける <input type="checkbox"/> 自宅の浸水するおそれのある場所に土嚢を置く	<input type="checkbox"/> 開設避難場所を確認する (町のホームページなど) <input type="checkbox"/> 備蓄品や貴重品等が水没しないよう高いところなどに置く <input type="checkbox"/> 隣近所(一人暮らしの高齢者)への声かけをする	<input type="checkbox"/> 避難開始 避難指示が出たときには 危険な場所から全員避難する！ <input type="checkbox"/> 戸締り、火元の確認をする <input type="checkbox"/> 隣近所(一人暮らしの高齢者)への声かけをする	<input type="checkbox"/> 避難完了
	避難に支援を必要とする人 またそのご家族など同居している人	<input type="checkbox"/> 家族や自主防災組織などの支援者と 避難手段やタイミングなどを確認する		<input type="checkbox"/> 避難開始 避難に時間を要する人は、 危険な場所から避難する！	わが家の避難する場所
	ペットとともに避難する人	<input type="checkbox"/> 避難手段・タイミングなどを確認する <input type="checkbox"/> ペット用非常持出品、ケージを準備する <input type="checkbox"/> 知人などの一時預け先に確認をする	<input type="checkbox"/> ペットをケージに入れて避難の準備をする	車避難の注意点 車を活用した避難や要配慮者の送迎については、早い段階で実施しましょう。	逃げ遅れた場合の命を守るための最善の行動を記入しておきましょう
	安全な地域にいる家族や親戚宅等へ避難する人	<input type="checkbox"/> 避難をする相手先と連絡をとる <input type="checkbox"/> 避難手段を確認する			
上記で <input checked="" type="checkbox"/> チェックした項目以外で他に必要な事項があれば記入しておきましょう。					

←警戒レベル4までに必ず避難！←

- ❗ 屋外行動の禁止
- ❗ 屋内の安全な場所への避難
※安全な場所とは、上階(垂直避難)、がけから離れた部屋、近隣の高く堅牢な建物など
- ❗ 命を守る最善の行動をとる






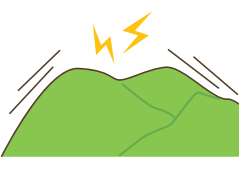




日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

日頃からの備え
風水害
土砂災害
避難所一覧表
索引図
洪水ハザードマップ
わが家の防災メモ

土砂災害

土砂災害の種類と前兆現象

土砂災害は、大雨、長雨、融雪、地震などがあつたときに、山やがけなどの斜面が崩れて下に落ちていく災害です。近年は増加傾向にあり、突然発生し、被害が大きいくことが特徴としてあげられます。危険を察知するためには、事前に土砂災害に関する正しい知識を得ておくことが大切です。

がけ崩れ(急傾斜地崩壊)	土石流
 <p>地面に雨水や雪解け水が大量にしみこんだり、地震の揺れにより、急な斜面が突然一気に崩れ落ちる現象。</p>	 <p>山や谷の土や石が大雨などで崩れ、水と混じってどろどろになり、激しく流れていく現象。</p>
<p>こんな前ぶれ現象が起きたら注意！ 周りの人にも知らせ早急に避難しましょう！</p>	
 <p>斜面から水が湧き出す。</p>	 <p>山鳴りがしたり、ドーンという音、ゴロゴロという音がする。</p>
 <p>小石がぱらぱら落ちてくる。</p>	 <p>雨が降り続けているにも関わらず、川の水位が急激に下がる。</p>
 <p>斜面にひび割れができる。</p>	 <p>川の水が濁り、流木が発生する。</p>

ご存じですか？ 土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域について

土砂災害警戒区域(イエローゾーン)とは？

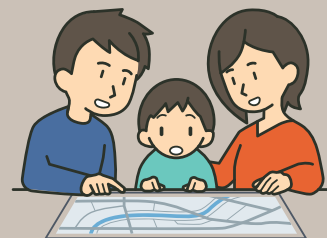
法律に基づいて、北海道が土砂災害危険箇所について現地調査を行い、土砂災害を防止するために避難体制の整備を行う区域のこと。

土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)とは？

建物が破壊されるなど、住民に大きな被害が生じるおそれのあることから、土地利用に制限等かけた区域のこと。

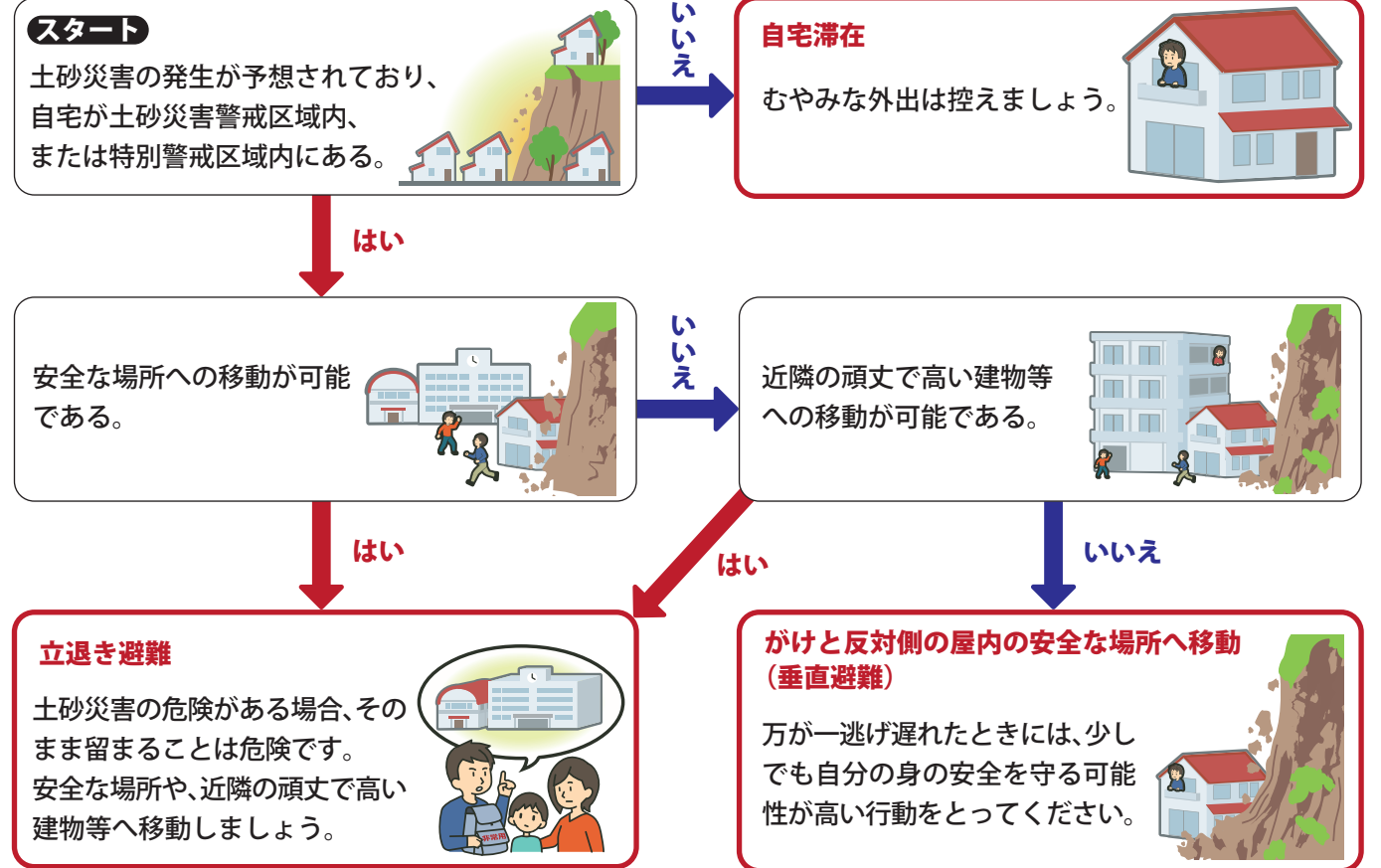
日頃から自分の住んでいる周りや避難場所までの経路に土砂災害警戒区域等があるか、ハザードマップで確認しておきましょう。

ハザードマップでの表記のしかた



土砂災害から身を守る

CHECK! とるべき避難行動を確認しましょう



P15~26のハザードマップを確認し、自宅や自分のいる場所が土砂災害の危険区域内にある場合、安全な場所への移動ができる場合は、指定緊急避難場所などの安全な場所へ立退き避難しましょう。万が一、夜中や激しい雨などで安全な場所への移動が難しい場合は、ただちに近くの頑丈な建物の2階以上などへ移動しましょう。また、屋外への避難がかえって危険な場合は、がけと反対側のなるべく高い階の部屋などへ避難しましょう。

! 雨が降り出したら 土砂災害警戒情報 に注意しましょう

土砂災害警戒情報とは？

大雨による土砂災害の危険性が高まったときに、避難の判断の参考となるよう、北海道と札幌管区気象台が共同で発表する防災情報です。雨が降り出し、土砂災害警戒情報が発表されたら、町の避難情報などに従い、速やかに避難しましょう。また、この情報の発表いかんに関わらず、危険を感じた場合は速やかに自主避難してください。



! 土砂災害から避難するときの注意点

- 避難所や安全な場所へ避難する際、他の土砂災害警戒区域などの危険箇所の通過は避けましょう。
- 土石流に関しては、溪流に対してできるだけ直角方向に溪流から離れましょう。